

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第6回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）
- (2) 自主的審議事項について（公開）

3 開催日時

令和3年10月14日（木） 午後6時30分から午後8時33分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一、
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

8 発言の内容

【五十嵐主任】

- ・ 12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：伊藤光夫委員、小山委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

ただ今の説明のほかに1点報告する。

前回の会議で、社会教育課参事より三郷地区公民館の改修について「次期の財政計画に登載するよう検討している」との説明があった。その時に委員より「財政計画は令和4年度から何年までの計画なのか」との質問が出た。社会教育課参事より「次期の計画期間についてはまだ示されていないため不明であるが、現在の財政計画は10年ぐらいではないか」との質疑応答があったかと思う。

その件について社会教育課参事より9月15日に電話があり、「現在作成の上越市第6次総合計画とリンクしている第2次財政計画については、平成27年度から平成34年度いわゆる令和4年度までの8年間となっている。その中で第1期の前期計画が、平成27年度から平成30年度、第2期の後期が平成31年度から令和4年度ということになるため、10年ではなく8年であったことを訂正したい。」との連絡があった。

【竹内会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3議題（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について —

【竹内会長】

次第3議題（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

前回の会議では、「地域協議会に関する意識調査」の結果を受けて、「三郷区の地域協議会における取組」を考えていくことになっていた。市から地域協議会に投げかけられた「意見交換」「会議運営」「情報発信」の3点について、今後の取組や進め方の改善点について、意見を求め、協議していきたいと思う。

三郷区では、すでに実施済みのことや問題なく遂行している部分もある。それも含めて改善点があれば意見を出していただき、改善点等がなければ、現行のとおり

でよいかの意見をいただきたい。

前回配布した、検討シートの「ア意見交換について」から順に協議する。

最初に「ア意見交換について」である。

三郷区については、任期1年目の当初に「三郷区の課題出し」として委員より意見を求めた。

「団体との意見交換等も通じて、三郷区の課題出しをしていきたい」といった意見もあったが、現在「公民館整備」と「春駒の伝承」の2つを自主的審議事項として進めているところである。

過去の取組としては検討シートに記載のとおりである。

「春駒」については、すでに関係団体との意見交換を実施して進めているところである。「公民館整備」についても、今後、地元町内会や各団体等との意見交換も必要であると考えている。また先日、アンケートを実施して前段の調査を進めているところである。近いうちに、地域との意見交換等を進めて行こうと予定をしている。

これらも踏まえ、「ア意見交換について」意見を求める。

【平田伸一委員】

「ア-1 主な回答」を見た自分の印象である。

「課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要」と記載されているが、地域協議会委員の任期4年間の中で行わなければならない。

また「日頃から協議会と諸団体との風通しをよくしておくことが必要」とあるが、地域協議会と地域の団体を比べると、どうも地域協議会が上から目線になってしまって、ストレートな意見等がなかなか出てこない部分があるような気がする。

次に、「他地区協議会との意見交換」についてだが、三郷区にとって、どこが適当な地区なのかといったところがよく分からない感じがする。

次に、「今後の取組(方針案)」については、「地域住民との意見交換会」が、何を・誰と・どんな内容で協議するのかがはっきりしていない。そのようなことを感じたため、もう少し具体的なものを考えていかなければならないと思った。

やはり、4年間という任期の中で考えていく必要があるため、ある程度のゴール

でもないが、何を指すのか誰もが分かるようなものを目標として掲げていたほうが進めやすいと思った。自分なりにシートを読み返して思った意見である。

【竹内会長】

地域協議会委員として地元からの課題を出し、それが今の自主的審議の「春駒班」「公民館整備班」のかたちとなってきていると思う。

それ以外にも、地域との意見交換等細かく対応すればよいと思うが、限られた4年間の任期の中では難しい部分もあると思っている。

このようなことも踏まえ、正副会長で協議しながら前向きにどんな意見交換を行い、具体的な事案を残された任期の中で考えていくよう調整していきたいと思う。

・他に意見を求めるがなし。

それでは、平田伸一委員から話が出たとおり、具体案とか残された任期の中で、どのような意見交換の場を設けながら進めていくかということもあるが、自主的審議事項として動いている「春駒の伝承」や「公民館整備」について、意見交換等を事務局、正副会長会議の中で調整しながら進めていきたいと思う。今後、地域住民や各町内会、各団体等との意見交換等も計画し、こちらで調整していきたいと思っている。

そのような進め方でよいかを諮り委員の了承を得る。

細かいところは正副会長で調整し、皆さんに繋いでいきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

次に「イ会議運営について」に入る。

初めに「会議開催日、開催時間、回数について」である。

これまで三郷区では月1回程度の開催としていた。他地区では定期的に「第何週の何曜日」と決めて開催している区もあるようである。三郷区では、会議終了時に「次回の会議日程」として伝え、日程調整をしていた。三郷区では委員の出席率が非常によいと思う。他地区では出席率が悪いところもあるようである。

会議開催日、開催時間、回数等について意見を求める。

【平田伸一委員】

確かに三郷区は出席率がよいが、今の日程の決め方で各自調整はしやすいのか等

について、再度確認しておく必要があるように思う。

【竹内会長】

現在の「会議開催日」「会議時間帯」「会議回数」について、どのように思っているのか意見を聞くことにより、今後の会議運営にも反映していけると思う。有職者もいるため、確認できればと思う。

【市村委員】

大体、1か月後の予定となるため、そのくらいであればスケジュールの調整が可能である。特に問題はない。

【伊藤 光夫委員】

次回の開催日を1か月前に決めているため、今までどおりで大丈夫である。

【小山委員】

正直にいうと、個人的には木曜日ではないほうがよい。

【荻戸委員】

今の時間帯等で特に問題はない。

ただし9月については、15日ぐらいまでの間は仕事の都合により、出席できない場合がある。

【平田清委員】

家庭の事情により、早い時間帯の場合には難しいところがある。

だが1か月程度前に日程を決定してもらうことができれば、何とか調整はできる状況である。

【平田伸一委員】

他の会議と重ならなければ、夕方の会議であるため、ほぼ大丈夫である。

【山口委員】

このままでよい。

【吉田委員】

1か月前に予定が分かっているため、現状でよい。

【渡部委員】

特に問題はない。

【保坂副会長】

申し訳ないのだが、正副会長の事前協議の中で、自分たちの予定を優先して日程を決めているため、特に問題はなかった。

だが曜日等については、最初に委員に確認すればよかったと思っている。

【伊藤副会長】

日程については正副会長で調整していることもあり、自分は大丈夫であった。

だが、長い時には会議が2時間を超えるときもあるため、各委員が承知しているのであれば、このままの状態でよい。

【竹内会長】

保坂副会長の発言にあったとおり、正副会長会で日程調整をし、会議終了時に皆さんに日程等を伝え約1か月の余裕があるので、調整が可能かと思っている。

今、意見のあった都合の悪い曜日や時間帯等については、今後の会議運営の中で反映して調整していきたいと思う。

次に「視察や研修の積極的な実施について」意見を求める。

【平田伸一委員】

「イ-1 主な回答」の3つ目に、「毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。」との回答が記載されている。

これについて思うこととして、先ほど「ア 意見交換について」の際にも会長より「正副会長と事務局へ一任」との言い方をしているが、やはりそれはまずいと思う。

何故かという、正副会長は2期以上経験しているのだが、その他の委員は1期目であり、いろいろなことを決めていくプロセスがすごく大事だと思う。それを大事にして、会議の運営をしてもらいたいと思う。

時間がないということではなく、やはり運営の仕方もあると思う。その辺をうまくコントロールしてもらいたいと考えている。

本来は、会議を終わらせなければならないということではないと思う。月1回の会議を「8時過ぎまでに終了する」との目標も分かるが、5分時間を伸ばせば決められることもあるかもしれない。

会議ありきではなく、委員が知っておかなければならないことは、プロセスが大切なことであるため、それを大切にされた運営をしてほしいと思う。

【竹内会長】

どうしてもこの会議の中で決めなくてはいけないというところは、結果が出るまで十分に議論をするということは当然の話であり、そうしていくべきだと自分も考えている。

運営については正副会長に一任していただき、それを委員に伝えて問題・課題等が出てきた際には、ここで十分に議論をして結果を出すような会議運営を今後は心がけていければと思っている。

各委員もどんどん意見を出してほしい。正副会長会議で出た意見についても、これで良いかという確認をしているところではあるが、それでは駄目だということからは、意見をいただければそこについて十分話が尽きるまで論議するべきで、そういった時間も惜しまず運営していければと思っている。

正副会長に一任とのかたちに限らず、各委員もどんどんと意見を出してもらい、答えの出る会議にして行きたいと思う。そういったところが大事なところかと思っている。

今期の委員も2年目に入っており、いろいろな地域の方々との接触等もあるかと思う。どんどんその辺の意見も出していただきながら、自主的審議の取組に限らずに活動していただくことができれば、また変わってくるかと思っている。

今の問題について、時間切れになるということも含めて、「正副会長に一任」について駄目だということ意見がでたが、皆さんに伺う。

「正副会長に一任」ではなく、とことんここで議論して、結果を出していくということであればそういった形にしていく。

何か意見等あるか。山口委員は任期が長いのだが、何か意見等あるか。

【山口委員】

趣旨からして、「地域協議会の取組の検討シート」に記載されている内容は、前期委員を対象にしたアンケート結果である。それを参考に、三郷区について会議の運営などについて話し合いをしている。平田伸一委員もその点は分かっていると思う。

三郷区として、どのような取組をするかについては、最初からやるのであれば、やればよいと思う。

【竹内会長】

とことん議論していければ1番よいと思うが、時間的にも許す時間帯があると思う。会議運営の考え方について、改めて調整して変えて行かなければならないかと思う。

【平田伸一委員】

原則というか、そういった思いで運営してもらいたいということを申し上げているので、100パーセントを超えて、今後はすべて行っていくと言っているつもりはない。

そもそも、正副会長、事務局一任とはどういうことなのかを考えてほしいと思う。

【竹内会長】

内容について、課題分けしながら、本来一任できる課題や皆さんでとことん議論して結果を出していかなければいけない場面もあるので、会議を運営していく中で、調整していきたい。

改めて、「視察や研修の積極的な実施について」に入る。

三郷区では健康課題や人口・世帯数の動向について、市の担当課より説明を聞き、また公民館の視察も行った。

- ・今後、どのようなことを行えばよいのかについて意見等を求めるがなし。
- ・正副会長と事務局にて検討し、その内容を委員に示して進めていくこととしてよいかを諮り、承諾を得る。

次に「会議における進行、発言の機会について」に入る。

これまでの内容に関連することが多いが、三郷区では班別に分かれて議論するスタイルをとっている。また、1人ずつ意見等を聞く意見発表の場も設けているところである。

「会議における進行、発言の機会について」意見を求める。

【山口委員】

「イ-2 各地域協議会における今後の取組(案)」の4つ目に記載されている「会

議の進行を担う会長がすべての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮」ということで、アンケート結果を踏まえた案が提示されている。このようなかたちで進めていくということを委員が了承すればよいと思う。そして必要に応じて、竹内会長が個々に指名すればよいと思う。前期と比べて、今期の委員は挙手の上、発言をしている。三郷区では現状のままでよいと思っている。

また、協議内容によっては、どうしても全員の委員の意見が聞きたいというものがあれば、会長は議長であるため個々に指名して進めていけばよいと思う。

【竹内会長】

私もその場面に応じて、意見を一人一人聞くようなところとか、このような形で皆さんに振って、意見を求めているところである。全体では発言しづらい場面も班別になれば違う良い意見が出たりする場面もあることから、このようなスタイルで行っているところである。また、別の方法がよいというのであれば、対応していきたいと思う。この意識調査の結果を見ると発言がないようなことが多いらしい。そのようなことを踏まえて三郷区としては、山口委員が言った通り、意見も出ていし発言も多い方だと思っているので、現行のかたちで進めていきたいと思っている。

・「会議における進行、発言の機会について」は、今までどおりのやり方としてよいかを諮り、承諾を得る。

これが1番よいスタイルということではないため、できる限りのことをしていきたいと思っている。

次に「その他（会議等の運営に関する改善点）」について、意見を求める。

【平田伸一委員】

「分科会やグループワーク等、小規模の話合いの場を適時設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり」についてである。三郷区では自主的審議事項のテーマを2つ決め、委員が別れてそれぞれ協議をしている。その進め方は合理的であり、非常に結構なことだと思っている。

ただ問題ということではないが、それだけに偏ってしまう部分があると思う。

例えば、自分は「公民館整備」について、いろいろと思っていることもあるため、発言する場面も結構あるが、全員で考えていくことであると思っている。

その辺の調整をうまくしてほしいと思っている。

「離合集散」、離れる・合う・集まる・散る、といったことが、組織の中で2つに分かれる場合には、お互いに内容をきちんと分かり合えるような努力をしていかなければならないと思っている。

【竹内会長】

発言のとおりだと思う。

全体で考えなければならないことは確かにあり、班別に分かれて、当然最後には内容等の確認・発表等をしながら、そこで意見聴取をしているわけである。その流れで、全体で考えるということが大事である。「自分はこちらの班だから、関係ない」と思う部分もあるかもしれないが、そうではなく、全体で同じ意識の中で進めていきたいと思っている。

そういったことも含め、今後の運営に関しては、正副会長と事務局で調整しながら認識付けていきたいと思う。

・他に意見等を求めるがなし。

次に「ウ 情報発信について」に入る。

三郷区では、年4回「地域協議会だより」を発行している。前回の会議では、全戸配布しているカラー版の地域協議会だよりを委員へ配布した。通常の白黒版とカラー版を見比べて見栄え等、いろいろな感想をもった委員もいたと思う。

地域協議会の活動を住民のみなさんから関心を寄せてもらえるよう、写真を前面に掲載し、内容についても自主的審議事項や取組について、写真を加えて簡潔に記載している。編集委員ということで、正副会長と事務局で内容を調整・確認をして発行している。

ここの三郷地区公民館にお願いをして階段の脇に、「情報版」ということで、地域協議会の活動している状況等を掲載するため、一枠もらったところである。そういった情報発信も、行っているところであるが、いろんな形の情報発信があると思う。

特に意見があれば、改善点も含めて、意見を求める。

【平田伸一委員】

地域協議会だよりを見ると、中身はほぼ決まったことのお知らせのような感じで

ある。地域協議会として地域住民に問題提起をすとか、こういうことで今困っているとか、地域で議論が巻き起こるようなきっかけみたいなもの、そういう問題があると地域の方から気付いてもらえるような中身が必要な気がする。

中身を見ると、どうしても後追いばかりであり、募集記事等もあるのだが、本当にこの内容で親しみのあるものなのかわからない。まして、地域協議会は地域住民に理解されていないところが多いと思う。

それはもう、地域協議会委員の更新（改選）の時期に、手を挙げる方がそう多くはないとの話も聞いている。そうするとやはり、地域協議会って何を目的にしているのか等、目的だけを書くのではなくて、問題提起をしていくような過程の中で「何をやっているのか」とか「結果、こういうものがあつた」というのは、そういう1つの報告みたいなものをこの中で、情報を投げて地域の皆さんからボールを返してもらって、また行ったり来たりするような、そのようなかたちで地域の課題なりを掘り下げていくとか、広げていくとか、そういうものが求められているのかと思う。

なかなか地域協議会だよりを作ることも大変だと思う。ここまで作るだけでも大変だと思う。でも本当に「この地域協議会だよりで良いのだ」ということでは決してないのではないかと思うので意見として出した。

【保坂副会長】

地域協議会のお便りとまちづくり振興会のお便りがあり、まちづくり振興会の役目も大きいと思っている。そういう意味でどちらがどのような役割を担い、この三郷地区における問題提起をしていくのか、それぞれ役割分担しながらやっていかなければ、地域の人たちが気づいていけない部分もあるのかと思う。その辺を会長レベルの話し合いでもよいが、積み上げていただければありがたいと思う。

【竹内会長】

自分も、まちづくり振興会等の役員で参画するので、それも反映させていければと思っている。いろんな地域の課題を地域住民とキャッチボールできるような場面がたよりに反映されればよいが、なかなか難しいところである。地域協議会だよりは、「後出しジャンケン」の方が多いという意見もある中で、求められる地域協議会委員、また目に見える地域協議会委員がどのような形の中で、行動しているか、活

動しているかというところも大事なところだと思う。皆さんもぜひ地域に入って溶け込んで、今の自主的審議事項に限らず、いろいろな地域の課題等を吸い上げて、地域協議会だよりも反映できるような場面もあればよいと思っている。それも含めて、今後また調整していきたいと思う。

【平田伸一委員】

情報発信については、これだと広報しかないが他にはないのか。それも考えてはどうかと思った。

【竹内会長】

現在は、地域協議会だよりも年4回発行しているが、他の地区で臨時発刊している事例があれば教えてほしい。

【堀川センター長】

発行については、今のところ28区すべて同じようなスタイルの情報発信しかない。

また、資金面の話をしてしまうとどうにもならない。協議会委員は同じ地域にお住まいの方なので、お互いに知恵を出し合って「こうすれば、もっと細かく周知できる」といったことをぜひ、地域協議会の中で意見を出し合って検討してほしい。ヒントや知恵を事務局に投げかけていただくことができれば、非常に助かる。

また、平田伸一委員より、地域協議会だよりの中身について意見があった。事務局で原案を作成するため、他の委員の皆さんも前回配布した地域協議会だよりを確認いただき、「ここがよくない」「ここはもっとこうしたほうがよい」ということを教えてほしい。事務局としては「地域協議会でどのような議論がされている」といったことを前面に考えながら知らせていることは、十分に理解していただけたと思う。そして地域の方より、「地域協議会はこんなことやっている」と理解してもらうことができれば、事務局としては本望である。今の掲載スタイルで修正等したほうがよいと思う部分・方法を提案してもらえると、事務局としても取組みやすいので是非とも意見を願う。

【竹内会長】

他地区もほぼ同様の情報発信ということである。

三郷区独自の情報発信の仕方等、知恵を出してほしい。いろいろなやり方があると思う。今回、ここの三郷地区公民館の一角に情報版スペースを確保した。そこにフリーで付箋等を貼ってもよい。今後はそういったこともしていきたいと思っており、情報発信の1つかと思っている。

知恵を出し合いながら情報発信について考えていければと思っている。

【市村委員】

情報発信について、現状、地域協議会だよりは年4回の発行であり、平均すると3か月に1回しか地域住民に情報が更新されていないということになる。

他地区で利用しているか分からないが、SNS等を利用してタイムリーに情報をあげ、地域住民からコメント等をもらうことができるような仕組みができれば、お互いに情報の更新が早くできるためよいと思う。

そういった場合、載せる内容とかも、事務局の添削や使ってはいけない文言とかの確認も必要になると思うがどうか。

利用していいものなのか、利用した場合は何か制約があるのか。

【竹内会長】

やはり難しいところはあると思う。

地域協議会委員として、公的な立場もある。SNSという場面における、制約的なものや文言等について、事務局より説明願う。

【堀川センター長】

SNSの活用については、自治・地域振興課でも今後検討すると思う。また考えなければならない時代に来ていると思っている。

ただ、SNSを使いこなせる人が、地域にどれだけいるのかが問題となってくる。若者はできるかもしれないが、SNSを管理する人の手配等も必要かと思う。それは要検討だと思う。ルールややり方に関する詳細はすぐには出ないと思うため、意見として伺って担当課と相談したい。

ただ炎上してはならないため、細心の注意が必要となってくる。やはり竹内会長の発言にもあったように、品位は守らなければならない。

市では、SNSなどを活用した発信を行っている課もある。そこではルールもし

っかり決まっている。

そういったことも踏まえながら今後の宿題とさせてほしい。

【竹内会長】

安全メールやラインでの情報発信については、市としても一生懸命に取り組んでいると思う。毎日のようにラインでメッセージが届き、何かあれば安心メールも入ってくる。そのようなかたちで、「地域協議会バージョン」のようなものを立ち上げることができれば面白い。

【市村委員】

個人としてのアカウントではなく、地域協議会としてのアカウントで地域住民に情報をタイムリーに提供し、若者から情報をフィードバックされるとよいと思う。

【竹内会長】

・他に意見等を求めるがなし。

本日出た意見を、今後の会議運営等に反映していきたいと思う。

以上で次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。

— 一次第3 議題 (2) 自主的審議事項について —

【竹内会長】

次第3議題(2) 自主的審議事項についてに入る。

前回会議で伝えた公民館に関するアンケート調査を9月に実施したため、調査結果について保坂副会長より報告願う。

【保坂副会長】

利用団体からの声を聞きたいということで、アンケートをする話がまとまったので、どのような手順で行ったかを説明する。

まず、三郷地区公民館主事の横田さんの方からどんな団体が今利用しているのかを聞いた。今まではあったが、今年度は使用していない団体もあった中で、現在動いている15団体を紹介いただいた。そして調査についての依頼文書と内容について

て、前回の地域協議会が終わった段階で、公民館班で原稿を確認し一部意見があったので修正した。

南部まちづくりセンターで印刷し、返信用封筒を同封したうえで、それを9月17日に私が15団体の方の家に届けながら依頼した。そして、29日までにまとまったものが、本日届いている調査結果ということになる。実際の届けた内容については、調査結果の8ページと9ページにあるので確認いただきたい。

【竹内会長】

アンケート結果として、様々な意見が出ている。施設の不備、使い勝手の良さ・悪さ等、今議論している内容と似たようなことを地域住民も感じている様に受け取れた。

それを踏まえて、結果について事務局より説明を求める。

【五十嵐主任】

- ・当日配布資料No.1、2について説明

【竹内会長】

先日実施したアンケート調査の結果から見えてくるものは、公民館に対する意見であり委員の皆さんが思っているところに集中しているようである。

これより班別に別れて協議していただくが、公民館班については、先日の社会教育課の説明、アンケート調査の結果を踏まえ、最終的には意見書にまとめて提出することを見据えて協議願う。

春駒班については、西松野木町内会長と下四ツ屋町内会長、松波会の皆さんとの意見交換の結果を踏まえて、進め方を協議しているところであるが、今後の取組、伝承方法について協議願う。

これより各班に別れて、今後の取組等について協議願う。

— グループワーク —

【竹内会長】

会議を再開する。

これより各班で話し合った内容について、簡潔に発表願う。

最初に公民館班より、発表願う。

【保坂副会長】

アンケート結果に基づき、各自、感想を言い合いながら、最終的に公民館班としてどのようなかたちでやっていきたいのか、3点にまとまった。

1点目として、これまでも何度か話し合いの中で出てきたことではあるのだが、再確認ということで地域協議会として市へ意見書を出したい。

2点目として、意見書の提出前にまちづくり振興会或いは、町内会長協議会とも話し合い、内容のすり合わせを行っていききたい。

3点目として、改修や改築ではなく、新築を主として意見書を作成していききたい。ただし当座の問題として、トイレ・照明等については改修を希望する内容を盛り込みたいとのことでまとまった。

なお、意見書を出すにあたっては、今までに金谷地区と諏訪地区で意見書が提出されているため、参考にしながら作成していききたいと思っている。

【竹内会長】

次に春駒班より発表願う。

【伊藤副会長】

西松野木と下四ツ屋の町内会長や、松波会の人たちと意見交換をした中で、既存の松波会を中心として、組織を作ったほうがよいとの意見が出た。

新たな組織を作ってはどうか、との意見も出たのだがやりたい人がいなければ、新たに組織を作ったとしても、ただ組織だけで動いていくことになってしまう。踊りを踊る人を多く集めなければならない。現在、小学校では、上級生が下級生に春駒を教えることを授業として取組んでいる。そのため小学生にも積極的に声をかけ、踊りの楽しさ等を伝えて、伝承方法に繋げていければよいとの意見も出た。

次に、三郷地区内でも春駒のことを知らない人が大勢いるため、まずは地区内に情報を発信し春駒があることを周知して、知ってもらってはどうかとの意見も出た。

また現在、昔から続けて踊っている人が1人だけであるため、その人がいるうちに踊りを記録映像として残し、それを伝承方法の1つの資料として残していったら

どうか、との意見も出た。

やはり西松野木町内会長と下四ツ屋町内会長との意見交換は大切であるとの意見や春駒を見る機会をつくり、魅力等を伝えていきたいとの意見もあった。

それらを踏まえ、次回も意見交換を進めていきたい。

【竹内会長】

各班ともに、さまざまな意見が出た。

本日の意見を踏まえて、今後の協議に繋げて行ってほしい。

・今ほどの発表に対して、質疑を求めるがなし。

以上で次第3議題（2）自主的審議事項についてを終了する。

— 一次第5 事務連絡 —

【竹内会長】

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・次回会議：令和3年11月12日（金）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・内容（予定）：自主的審議事項について
- ・その他配布資料
 - ・令和2年度上越地域活動支援事業 事例集
 - ・男女共同参画推進センターからのおたより（3種類）

【竹内会長】

・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。